

石盤打投手新作

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2013

読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120 (販売)
事業局 028-625-1134 (専業・教育)
営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも
下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは
0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯、スマホで栃木のニュースを!!
下野新聞 SOON
月額262円
下野新聞 検索

熊本工下し
甲子園16強

山下、初回に先制弾



熊本工(熊本)ー作新2回戦 1回表作新1死二塁、山下が左中間に先制の2点本塁打を放つ
兵庫県西宮市の阪神甲子園球場、永島理絵撮影

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
作新	2	0	0	0	1	0	0	1	0	4
熊本工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(作) 渡辺、朝山ー山下(熊) 山下ー本田

▽本塁打 山下(作) ▽三塁打 山梨(作) 高木(熊) ▽二塁打 小林2(作)



熊本工に快勝し、高らかに校歌を歌いあげてグラウンドにあいさつする作新ナイン

第95回全国高校野球選手権記念大会第8日は15日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で2回戦を行い、3年連続9度目出場の作新学院は、第2試合で4年ぶり20度目出場の熊本工(熊本)と対戦、4ー0と快勝した。4

強入りした一昨年、8強入りした昨年に続き、ベスト16進出を決めた。

作新は攻守とも万全の試合運びだった。初回1死二塁から、3番・山下勇斗の左中間への2点本塁打で先制。五回には2死一、三塁から川上修吾の右前適時打で1点を追加した。八回には小林勇介の左越え適時二塁打でダメを押した。

先発の渡辺雄麻が丹念に低めを突く投球で中盤までをしのごと、救援した1年生の朝山広憲も相手打線に付け入る隙を与えず、継投で完封。守っては四回、大飛球を中堅の鈴木将史が好捕するなど堅守でもり立てた。

作新の次戦は大会第10日の17日、第4試合(午後3時半開始予定)の3回戦で日大山形(山形)と8強入りを懸け対戦する。

作新・小針崇宏監督の話 先発の渡辺は、気持ちを入れた粘り強いピッチングをしてくれた。朝山もマウンドで自分の力を発揮しようと楽しみながら投げていた。ディフェンスからリズムをつくり攻撃に持っていく特徴が出せた。

作新・山下勇斗主将の話 投手が頑張ってくれた。特に1年生の朝山は頼もしかった。リド面では、とにかく相手打者のタイミングをずらすことだけ考えた。